

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

|         |                  |
|---------|------------------|
| 上位の施策名称 | 施策Ⅲ-4-1 多様な自然の保全 |
|---------|------------------|

1. 事務事業の目的・概要

|          |            |      |              |
|----------|------------|------|--------------|
| 事務事業担当課長 | 林業課長 桑本 幸夫 | 電話番号 | 0852-22-5167 |
|----------|------------|------|--------------|

|         |   |                 |  |
|---------|---|-----------------|--|
| 事務事業の名称 | 緑化推進事業  |                 |  |
| 目的      | (1) 対象  | 県民              |  |
|         | (2) 意図  | 緑化に対する認識を深めてもらう |  |
| 事業概要    | 県民が地域で緑化に向けた活動を行ってもらうため、県民に対して緑化推進のための普及啓発・指導・情報提供等を行う。 |                 |  |

2. 成果参考指標

| (1) 成果参考指標 | 指標名  | 式・定義                        | 年度           | 23年度  | 24年度   | 25年度   | 26年度   | 27年度   | 単位 |
|------------|------|-----------------------------|--------------|-------|--------|--------|--------|--------|----|
|            |      |                             | 緑化推進活動への参加者数 | 目標値   |        | 355.00 | 355.00 | 355.00 |    |
|            |      | 身近な緑づくり運動、緑化相談・指導・研修等への参加者数 | 実績値          | 1,213 | 357.00 | 309.00 | 330.00 |        |    |
|            |      |                             | 達成率          |       | 100.60 | 87.00  | 93.00  |        | %  |
| 指標名        | 式・定義 | 年度                          | 23年度         | 24年度  | 25年度   | 26年度   | 27年度   | 単位     |    |
|            |      | 目標値                         |              | 0.00  | 0.00   |        |        |        |    |
|            |      | 実績値                         | 0.00         | 0.00  | 0.00   |        |        |        |    |
|            |      | 達成率                         |              | 0.00  | 0.00   |        |        | %      |    |

3. 事業費

|             | 26年度実績 | 27年度計画 |
|-------------|--------|--------|
| 事業費(b) (千円) | 5,370  | 5,409  |
| うち一般財源(千円)  | 5,370  | 5,409  |

4. 改善策の実施状況

|                     |                        |
|---------------------|------------------------|
| 前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況 | ②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む） |
|---------------------|------------------------|

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

○「緑化相談への対応」（相談者26人）は減少傾向にある。（最近5年間平均98人）  
 ○「緑化研修会等の実施」（参加者304人）はやや増加の傾向にある。（最近5年間平均253人）

6. 成果があったこと（改善されたこと）

森林公園内で研修会を実施した。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」  
緑化見本園(190種、500本)の継続的な管理(剪定等)を行いつつ、樹木プレートの修繕も併せて実施し、来訪者により一層樹木等に関心を高めてもらう必要がある。
- ②困っている状況が発生している「原因」  
一昨年の中途から担当嘱託員の欠員が生じ、見本園が荒廃状況にあったが、平成26年度当初から改善作業を実施した結果、適切に管理された見本園となりつつある。さらに、多くの人々が緑化・樹木に関心を高めてもらうために、樹木プレートの整備等を行っていく必要がある。
- ③原因を解消するための「課題」  
日々雇用作業員の雇用・作業計画と予算との調整を図りつつ、開園当初の樹木配置表との照合（樹木の有無、プレートの有無・修繕の必要性）や竹柵等の更新を行いつつ、適切な管理を継続して実施していく必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

緑化研修会の継続的な実施や見本園の改良、さらには森林公園の活用も視野に入れて、県民の緑化活動に対する認識が高まるように取り組んでいきたい。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）